

ザックかっついで

10月定例山行

10月26日 恐羅漢山～砥石郷山

参加者 20名

CL 中島美 SL 原田

上別祖、鬼武、中島康、熊谷修、村島
坂井、石倉、佐々木敏、川村、円山
小寺、坂本、藤本、村田、竹野、林
竹野栄、松尾

コースタイム

県庁 7:20⇒恐羅漢山スキー場登山口 9:15→恐羅漢頂上 10:20→

夏焼峠 11:20→砥石郷山 12:10～13:15 出発→牛小屋高原 14:20⇒県庁



○

天気予報では‘晴天’となっていました
が、スキー場に着くと曇り空で風も冷たく
やはり‘芸北’と思いました。前半急登で
皆しんどそうでしたが砥石郷山迄長い
ので少しペースを早め歩きました。お陰で昼
食はゆっくり出来、下りは紅葉を楽しみ
ながら歩くことができました。

下見の折(9月23日)砥石郷山登り道でや
まぼうしの赤い実が沢山付いていました。

あの山この山とリーダーをしたいと思
うのですが、下見の事(日程とか車の確保、
又、サブリーダーのお願い等)を思うと二
の足を踏みます。皆さんいかがですか？

(記 中島美代子)

○

先日の強風で木の葉もだいぶ痛みを増
していた。本日のお目当て。ブナ、ナナカ
マドモすっかり葉を落としている。しかし、

凜として天にそびえ立つ古樹の勇姿は、や
はりお見事。

山道には、晩秋を惜しむかのように、
所々ではあったが、リンドウ、アキノキリ
ンソウ、ナデシコの出迎えに心も癒される。

かえで、もみじ等の紅葉樹は、強風にあ
おられ、葉は傷つきながらも懸命に秋を彩
っている姿は、やはり少し物寂しく思えた。
紅葉樹さん。ありがとう。とつぶやきなが
ら山を後にしたのであります。

(記 藤本忠生)

恐羅漢山山頂

